

K14-29 発生医学研究所における質量分析支援の業務紹介

谷 直紀、関 丘、臼杵 慎吾、藤村 幸代子、村川 敦子
熊本大学 発生医学研究所 リエゾンラボ研究推進施設

熊本大学発生医学研究所は、リエゾンラボ研究推進施設(LILA)を設置して共通機器類及びリエゾンラボで実施される研究支援事業を統合的に管理・運用している。研究支援事業(リエゾンラボ研究支援)には、シークエンス・高速シークエンサー解析・質量分析・組織標本作成支援等があり、依頼サンプルを請け支援業務を行っている。

質量分析支援は、平成 25 年に装置を設置し、平成 25 年 7 月から支援業務を開始した。平成 25 年度は発生医学研究所内に限定した研究支援であったが、平成 26 年度からリエゾンラボ研究推進施設における共通機器利用登録者の支援依頼まで業務を拡大した。さらに、共同利用・共同研究拠点事業に係る共同研究者の依頼に対しても支援業務を行っている。質量分析装置の維持管理には高額な費用が発生することから、測定サンプル数に応じて利用者負担金(課金制度)の導入を始めたところであり、現在運営実績を少しずつ積み上げているところである。

発生医学研究所における質量分析支援の業務内容は、プロテオミクス解析を念頭に定性的なタンパク質同定から修飾解析までを行っている。支援利用者は、電気泳動ゲルから目的タンパク質のバンドを切り出してサンプルを提出する。本支援では、サンプル前処理調製、測定解析、同定・解析データの総括までを業務としている。また、事前相談を必須としており、支援利用者の依頼目的の把握やサンプル調製に係るサポートにも力を注いでいる。質の向上及び最新技術の修得・提供を目指し、学内のプロテオミクスに係る先生方と密に連携を取ると共に質量分析セミナーの開催も行っている。論文発表等にて重要な図表等で用いられる高度な測定データの提供を日々心掛け、質量分析支援業務を行っている。

(参考)

1. 熊本大学発生医学研究所リエゾンラボに設置する共通機器類及びリエゾンラボで実施される研究支援の利用要項(平成 26 年 5 月 13 日一部改正 発生医学研究所運営委員会承認)
2. リエゾンラボ研究推進施設(LILA):発生医学の共同研究拠点における研究支援体制(分子生物学会平成 25 年度年会、関 丘、他)
3. 発生医学研究所 リエゾンラボ研究推進施設 HP
<http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/topics/lila2012.html>
発生医学研究所 質量分析支援 HP
<http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/topics/mass2013.html>